

ウィンターフェスティバルが盛大に開催

昭和村に花火を上げる会・高橋宣明会長が主催するウィンターフェスティバル2018が2月10日、長者の原結婚の森で開催されました。この真冬のイベントは「子どもたちに夢と思い出を」をテーマに開催され、今年で24回目。

当日は午後4時に開幕し、会場スノーチュービングや、雪上上毛かるた大会が行われたほか、音楽バンド「YASUKI」や生越太鼓の演奏が披露されました。

また、ゆるキャラ「ひゅーどんどん」に加え、今回は「ぐんまちゃん」も登場。恒例のビンゴ大会も行われ、子どもたちの笑顔とともに会場を盛り上げました。

そして、クライマックスの雪上火火は午後7時にスタート。上州花火工房による、県内初となる雪上地上花火や、ワイドスターマインなど彩り豊かな花火が40分間、にわたり打ち上がり、冬の昭和村の澄みわたった夜空を鮮やかに彩りました。



真冬の空に鮮やかに打ち上がった花火



県内初となる雪上の地上花火



雪の上で元気に上毛かるた



人気のスノーチュービング

長寿祝い

金子嘉久恵さんに慶祝状

金子嘉久恵さん(滝久保)が100歳の誕生日を迎えられたことを祝い、2月22日に堤村長が金子さんののもとを訪れました。

金子さんは、大正7年2月21日生まれ。日頃から歌を歌うことが好きで、食事もしつかりとられる金子さん。堤村長から「これからどうぞお元気で長生きしてください」と慶祝状とお祝い金が手渡されると、金子さんは「ありがとうございます話してくれました」。



100歳の誕生日を迎えられた金子嘉久恵さん



講演する渡部陽一さん

生涯学習大会で渡部陽一さんが講演

第23回生涯学習大会が2月17日、公民館多目的ホールで開催されました。

第1部では、1月12日に行われた「昭和村いじめ防止子ども会議」から、村内



活動を発表した東小児童

各校を代表して東小学校より3人の児童が取り組んできた活動を発表しました。第2部の人権講演会では、戦場カメラマンの渡部陽一さんが「戦場からのメッセージをあなたに」と題し講演を行いました。渡部さんは、イラクやアフガニスタンをはじめ、世界で起こっている戦争や紛争などに接した経験を、写真とともに身ぶりを交え講演。渡部さんは「犠牲になるのはいつも子どもたち。写真を通してこの惨状を多くの人々に届け、少しでも泣いている子どもたちが減ってほしい」と真摯に語り、満員となった会場からは大きな拍手が上がっていました。

農家向け収入保険制度説明会を開催

認定農業者協議会および農業委員会は1月11日、役場会議室において、農家向け収入保険制度説明会を開催しました。説明会には、村内の農業者らおよそ100人が出席。

あいさつの後、群馬県農業共済組合沼田支所の小野支所長から制度について説明がありました。

この制度は、加入申請時に最低1年分の青色申告の実績があることを条件に、安定的な農業経営を行うため、自然災害による収穫量減少や価格低下などで生じた収入の減少を補償する制度です。

仕組みについては、自らが生産した農産物の販売収入が基準収入の9割を下回った場合に保険の対象となり、掛け金に応じて補てん金が受けられます。

出席者は、農業経営の新たなセーフティネットとなるこの制度の説明に、熱心に耳を傾けていました。

この収入保険制度は、平成30年10月頃より加入申請が始まり、平成31年1月より実施となっていますので、この機会に加入の検討をしてみたいかがでしょうか。



小野支所長(左)の説明に耳を傾ける出席者

役場庁舎耐震化地域説明会を開催

役場庁舎耐震化地域説明会が1月29日から2月2日にかけて、村内4か所の住民センターなどで行われました。これは、役場庁舎耐震化への現状について、村民の皆さんに知っていただくために村が開催したものです。

村から、役場庁舎耐震化断の結果や、それを受けての現在の取り組みを説明しました。出席いただいた方々からは、これからの庁舎の在り方などについて意見があったほか、今後の見通しや費用などについて質問がありました。



説明を聞く出席者(地域活性化センター)